

産業廃棄物処理状況調査票

(No. )

1 事業場の概要

項目	内容	項目	内容	備考
事業場の名称		従業員数 (人)		前年度の3月31日現在の従業員数 (パート等の臨時職員及び役員等を含む) を記入して下さい。
記入者名		当該事業所の元請完成工事高 (万円/年)		建設業の場合記入。 愛知県内 (政令市を除く。) で行われた工事の年間の元請完成工事高 (出来高工事を含む) を記入して下さい。
連絡先		当該事業所の製造品出荷額 (万円/年)		製造業の場合記入。 前年度の4月1日から3月31日までの1年間の額を記入して下さい。

2 実施状況

項目	産業廃棄物の種類 (名称)													
前年度計画の実施状況 (年度実績)	a	不要物等発生量 (t/年)												
	b	有償物量 (t/年)												
	①	排出量 (t/年) (①=a-b)												
	②	自ら直接再生利用した量 (t/年)												
		再生利用用途	A・B・C・D E ( )	A・B・C・D E ( )	A・B・C・D E ( )	A・B・C・D E ( )	A・B・C・D E ( )	A・B・C・D E ( )	A・B・C・D E ( )	A・B・C・D E ( )	A・B・C・D E ( )	A・B・C・D E ( )	A・B・C・D E ( )	A・B・C・D E ( )
	③	自ら直接埋立処分又は海洋投入処分した量 (t/年)												
		埋立処分先	A 県内・B 県外	A 県内・B 県外	A 県内・B 県外	A 県内・B 県外	A 県内・B 県外	A 県内・B 県外	A 県内・B 県外	A 県内・B 県外	A 県内・B 県外	A 県内・B 県外	A 県内・B 県外	A 県内・B 県外
	④	自ら中間処理した量 (t/年)												
		処理方法	A・B・C・D E ( )	A・B・C・D E ( )	A・B・C・D E ( )	A・B・C・D E ( )	A・B・C・D E ( )	A・B・C・D E ( )	A・B・C・D E ( )	A・B・C・D E ( )	A・B・C・D E ( )	A・B・C・D E ( )	A・B・C・D E ( )	A・B・C・D E ( )
	⑦	自ら中間処理により減量した量 (t/年) (⑦=④-⑥)												
	⑥	自ら中間処理した後の残存量 (t/年)												
	⑧	自ら中間処理した後再生利用した量 (t/年)												
		再生利用用途	A・B・C・D E ( )	A・B・C・D E ( )	A・B・C・D E ( )	A・B・C・D E ( )	A・B・C・D E ( )	A・B・C・D E ( )	A・B・C・D E ( )	A・B・C・D E ( )	A・B・C・D E ( )	A・B・C・D E ( )	A・B・C・D E ( )	A・B・C・D E ( )
	⑨	自ら中間処理した後自ら埋立処分又は海洋投入処分した量 (t/年)												
		埋立処分先	A 県内・B 県外	A 県内・B 県外	A 県内・B 県外	A 県内・B 県外	A 県内・B 県外	A 県内・B 県外	A 県内・B 県外	A 県内・B 県外	A 県内・B 県外	A 県内・B 県外	A 県内・B 県外	A 県内・B 県外
	c	自ら中間処理した後の処理委託量 (t/年) (c=⑥-⑧-⑨)												
	d	直接処理委託量 (t/年) (d=①-②-③-④)												
	⑩	直接及び自ら中間処理した後の処理委託量 (t/年) (⑩=c+d)												
	e	埋立処分又は海洋投入処分の処理委託量 (t/年)												
		埋立処分先	A 県内・B 県外	A 県内・B 県外	A 県内・B 県外	A 県内・B 県外	A 県内・B 県外	A 県内・B 県外	A 県内・B 県外	A 県内・B 県外	A 県内・B 県外	A 県内・B 県外	A 県内・B 県外	A 県内・B 県外
f	委託中間処理量 (t/年)													
	処理方法	A・B・C・D E ( )	A・B・C・D E ( )	A・B・C・D E ( )	A・B・C・D E ( )	A・B・C・D E ( )	A・B・C・D E ( )	A・B・C・D E ( )	A・B・C・D E ( )	A・B・C・D E ( )	A・B・C・D E ( )	A・B・C・D E ( )	A・B・C・D E ( )	
g	委託中間処理により減量した量 (t/年)													
h	委託中間処理した後再生利用した量 (t/年)													
	再生利用用途	A・B・C・D E ( )	A・B・C・D E ( )	A・B・C・D E ( )	A・B・C・D E ( )	A・B・C・D E ( )	A・B・C・D E ( )	A・B・C・D E ( )	A・B・C・D E ( )	A・B・C・D E ( )	A・B・C・D E ( )	A・B・C・D E ( )	A・B・C・D E ( )	
i	委託中間処理した後埋立処分又は海洋投入処分した量 (t/年)													
	埋立処分先	A 県内・B 県外	A 県内・B 県外	A 県内・B 県外	A 県内・B 県外	A 県内・B 県外	A 県内・B 県外	A 県内・B 県外	A 県内・B 県外	A 県内・B 県外	A 県内・B 県外	A 県内・B 県外	A 県内・B 県外	
j	再生利用量 (t/年) (j=②+⑧+h)													
k	中間処理による減量 (t/年) (k=⑦+g)													
l	最終処分量 (t/年) (l=③+⑨+e+i)													

- (注) 1 産業廃棄物発生・処理フロー図を参考に記載してください。  
 2 再生利用用途コード A:原料・材料 B:燃料 C:銅料・肥料 D:建設材料 E:その他(具体的に記載)  
 3 処理方法コード A:焼却・溶融 B:脱水・乾燥 C:破砕・圧縮 D:中和 E:その他(具体的に記載)  
 4 記入欄が不足する場合は、シートをコピーしてお使いください。なお、この場合、右上No.欄にページを記載してください。  
 5 ①~④、⑥~⑩は様式第二号の九又は様式第二号の一四の第2面と同じ項目です。